

荒高掲示板

1年経って

— 新系列一期生 —
(現1年生のふり返りより)

このたび、本校の1年生全員が、新たな環境で過ごしてきた一年間をふり返りました。今回は、その中から7名のふり返りを紹介します。

『高校生になって』

1年2組 片倉 空

高校に入学して感じたことは、一人の大人として見られるということです。与えられたことをこなすのは当たり前。その先の自分に必要なことは、“自分から”行動しなければ何も始まらないと思いました。勉強するのは苦手ですが、二年後の自分を考えると必要になることなので、目の前のことだけを見ずに頑張りたいです。

『この一年で感じたこと』

1年1組 樋口萌々架

昨年4月に荒砥高等学校に入学して感じたことは、荒高生の絆が強いということです。これまでたくさんの行事を通してきた日々の中で、毎日を充実させようと笑顔で過ごし、どんなことにも挑戦しようとする心構えが素敵だということを、荒高生のみなさんの行動が教えてくれました。これからも、一日一日を大切に過ごしていきたいです。

『高校1年生をふり返って』

1年2組 安部 涼華

高校生活をふり返って、自分変わったかな、とすることがあります。本を中学校よりも多く読むようになったり、検定を受けてみたりなど、自分から挑戦しようと頑張ってみることができた一年間でした。もっといろいろなことに興味を持って挑戦してみたいです。

『一年頑張ったこと』

1年2組 青木 美羽

私は、中学校の時から数学が苦手で、高校に入学してもずっと苦手なままでした。しかし、最近は、先生に聞いたりして、たくさん問題が解けるとうれしいと思うようになりました。これからも、もっと頑張って問題を1問でも多く解けるようにしていきたいです。他の教科も頑張りたいです。

『入学から成長したこと』

1年1組 菊地 葵

私は入学し、生活してきてたくさんのことを学び成長することができました。大きな変化としてはたくさんの人とコミュニケーションができるようになったことです。普段の学校生活や部活動を通して、人との関わりを学び、身に付けることができました。コミュニケーションは、これから進学、就職するうえで一番大切なことだと思うのでこれからも学び身に付けていきたいです。

『まず、やってみる』

1年2組 芳賀 柊花

私が高校生になって感じたことは、新しいことにチャレンジしてみることの大切さです。中学校では、自分から話しかけることができませんでした。なので自分を変えようと思ってたくさんの子に声をかけていたら、今では仲良し子友達ことができました!! 自分を変えるのは自分自身であって、そのためにまず、チャレンジしてみることは大切だと改めて思いました。

『一年経って思うこと』

1年1組 金子 美佳

高校という新しい環境に入ってからもう一年が経とうとしていることに驚きです。時間の経過を早く感じた一年でした。体育祭・文化祭などの学校行事を通して、中学の時より充実感を感じたし、それと共に自分たちは少しずつ大人に近づいていっているんだな、と思いました。来年度はもっと充実した楽しい学校生活を送れるようにしたいです。

普段の会話、発表なども大切ですが、自己を見つめ、文章にしたためることで、主体的、対話的、深い学びにつながっているようです。

1年次
産業社会と人間
レポートまとめの様子

